

バラエティーミート世界一、 食肉日本一を目指して 新生エスフーズが始動します。



当社は平成16年9月1日付
けで株式会社ムラチクと
株式交換を行い、グループ
経営を開始しました。さらに、
平成17年3月1日付で合併
し、両社の強みを活かした
新生エスフーズとして
「バラエティーミート世界一、
食肉日本一」を目指してま
います。

ごあいさつ

エスフーズグループの目的は、「おいしさと健康を愛する魅力あるスタミナ食品」の開発・販売を通して品質、安全性、機能性、栄養価、価格及び食事に求める楽しさや充実感など、お客様の要望にお応えできる魅力ある製品・商品とサービスを創造し提供することにあります。今後も引き続き「社是」及び五愛の精神に基づく「社訓」ならびに企業倫理と法令順守(コンプライアンス)を含めたあるべき行動規範である「エスフーズ行動憲章」のもと、信頼と企業価値を高め「バラエティーミート世界一、食肉日本一」という経営ビジョンの達成を目指してまいります。



代表取締役 CEO 森島 征夫

概況 について

現在、当社グループを取り巻く経営環境は、昨年末に米国で発生したBSE問題により、依然として厳しい状態が続いております。このような状況下、当社は米国産牛肉の代替として、牛肉以外の食肉製品の開発、豪州産牛肉による焼肉商材の開発、豪州産牛肉のマーケットシェアの拡大といった積極的な事業活動を行いました。以上、様々な施策を全社一丸となって迅速に実施した結果、当初計画を上回る業績をあげることができました。当中間期の売上高は191億7千2百万円(前年同期比26.4%減)、経常利益は8億8千万円(前年同期比52.1%減)、中間純利益は4億8千7百万円(前年同期比7億円増)となりました。

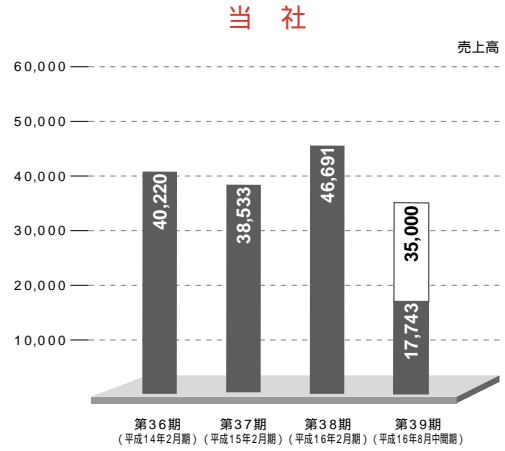
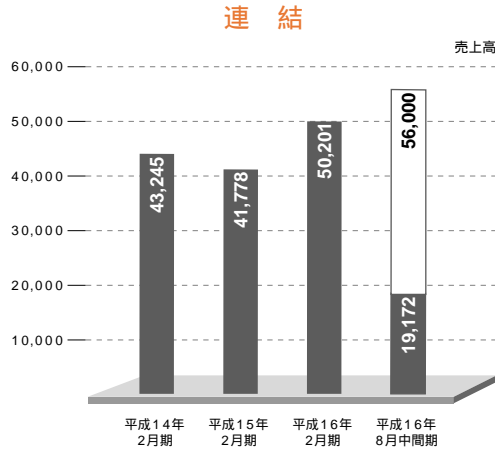
配当 について

当社は、創業以来一貫して株主の利益を最も重要な課題として事業の経営に当たってまいりました。米国BSE問題発生以降極めて厳しい環境が続いておりますが、昨年より実施しております中間配当金につきましては、計画通り1株6円を実施することといたしました。また、期末配当につきましても、当初計画通り1株6円とし、年間合計12円の配当を予定しております。今後の配当政策につきましても、普通配当12円を安定的・継続的な利益還元の基本目標ラインとした上で、配当性向40%を目途として、業績向上による一層の利益還元を実施してまいりたいと考えております。

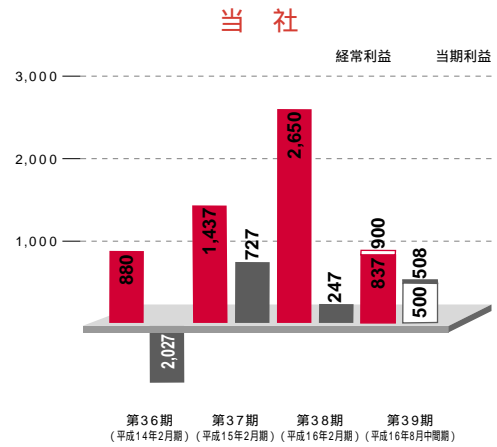
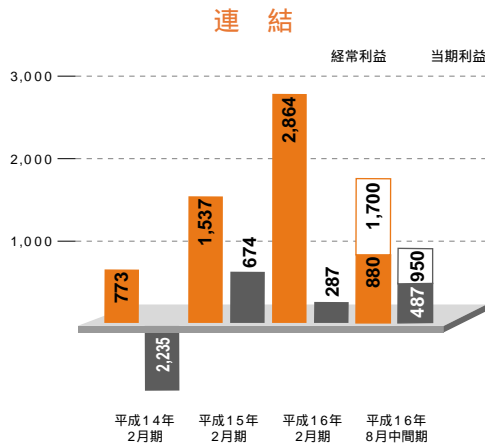
今後の 見通し

BSE問題につきましては、日米政府間で米国産牛肉の輸入再開に関して、具体的な合意が行われておりません。したがって当社は、期中の米国産牛肉入荷がないものとして業績見通しを策定いたしております。当社グループはさらなる経営基盤の安定化と事業領域の拡大を目指し、本年9月1日に当社を完全親会社とし、株式会社ムラチクを完全子会社とする株式交換を行い、グループ経営を開始しました。さらに、平成17年3月1日付で合併し、両社の強みを活かした、新生エスフーズとして食肉文化の国内外への一層の普及に取り組んでまいります。なお平成17年2月期の通期見通しは売上高560億円、経常利益は17億円、当期純利益は9億5千万円を見込んでおります。

売上高 (単位:百万円)



経常利益 / 当期利益 (単位:百万円)



経営成績の状況 (単位:百万円)

連結

	平成15年8月期 前中間期	平成16年8月期 当中間期	平成16年2月期 前
1株当たり当期利益	10.11	23.18	13.69
株主資本利益率(ROE)	1.2%	2.6%	1.5%
総資本経常利益率	6.6%	3.2%	11.4%

当社

	平成15年8月期 前中間期	平成16年8月期 当中間期	平成16年2月期 前
1株当たり当期利益	10.22	24.19	11.78
株主資本利益率(ROE)	1.2%	2.8%	1.4%
総資本経常利益率	6.9%	3.2%	11.3%

財政状態(キャッシュ・フロー)の状況 (単位:百万円)

連結

	平成15年8月期 前中間期	平成16年8月期 当中間期	平成16年2月期 前
営業活動によるキャッシュ・フロー	74	2,436	1,839
投資活動によるキャッシュ・フロー	785	1,101	959
財務活動によるキャッシュ・フロー	606	237	1,443
現金及び現金同等物の期末残高	1,482	3,294	2,204
借入金の期末残高	772	25	103
総資産	27,645	27,444	23,918
株主資本	18,454	18,986	18,688
株主資本比率	66.8%	69.2%	78.1%

当社

	平成15年8月期 前中間期	平成16年8月期 当中間期	平成16年2月期 前
総資本	25,664	25,863	22,250
株主資本	17,818	18,409	18,098
株主資本比率	69.4%	71.2%	81.3%
1株当たり株主資本(円)	847.48	875.76	860.87
借入金残高	600		

中間配当金について

・当 中 間 配 当 金	1株あたり金6円
・配 当 支 払 開 始 日	平成16年11月5日(金曜日)

株式メモ

決 算 期 毎年2月末日
 定時株主総会 毎年5月
 基 準 日 (1)定時株主総会については2月末日
 (2)その他必要あるときはあらかじめ公告する一定の日
 公告掲載 日本経済新聞
 決算公告については当社ホームページ上に貸借対照表及び損益計算書を掲載いた
 しております。(<http://www.sfoods.co.jp/investor/koukoku.html>)

株式名義書換
 名義書換代理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号
 UFJ信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 大阪府中央区伏見町三丁目6番3号
 UFJ信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部 電話 0120-094-777
 (通話料無料)
 同 取 次 場 所 UFJ信託銀行株式会社 全国本支店

株式関係のお手続き用紙のご請求は、次のUFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。
 電話(通話料無料) 0120-24-4479(本店証券代行部) 0120-68-4479(大阪支店証券代行部)
 インターネットホームページ <http://www.ufjtrustbank.co.jp/>

1単元の株式の数 500株

エスフーズ会社概要

社 名 エスフーズ株式会社 S Foods Inc.
 上場証券取引所 東証・大証1部 (コード番号 2292)
 設 立 年 月 日 昭和42年5月22日
 代 表 者 代表取締役社長 森島征夫
 資 本 金 42億2,664万円
 従 業 員(連結) 401名(平成16年2月期)
 年間売上高(連結) 502億円(平成16年2月期)
 事 業 内 容 食肉加工品、加工調理食品・惣菜、
 ソース調味料の製造販売 食品の販売
 主要取引銀行 株式会社UFJ銀行
 株式会社三井住友銀行
 株式会社みずほコーポレート銀行
 株式会社東京三菱銀行
 UFJ信託銀行株式会社
 関連会社 株式会社ムラチク・株式会社エムアンドエム食品
 ミスタースタミナ株式会社・株式会社ケンシヨク
 フォエム食品加工株式会社・株式会社味兆
 五愛焼肉コンセプト株式会社
 FREMONT BEEF COMPANY(アメリカ合衆国)
 すこやか食品株式会社・鳴尾興産株式会社
 株式会社オーエムツーネットワーク
 ホームページ <http://www.sfoods.co.jp/>

事業所
 本 社 〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目22番13
 TEL 0798(43)1065(代表)
 東 京 本 社 〒273-0014 千葉県船橋市高瀬町24番38
 TEL 047(435)0811(代表)
 支 店 九州、名古屋
 営 業 所 札幌、仙台、茨城、北関東、船橋、八王子、横浜、長野、静岡、
 岡崎、東海西、京都、和歌山、西宮、姫路、岡山、広島
 工 場 西宮、西宮第二、船橋、船橋第二

新製品インフォメーション

簡単・手軽に豚もつ料理。

「こてっちゃん」白もつで培った「もつ加工品」のノウハウを生かした豚もつ製品。家庭で簡単に「焼く・炒める」だけで手軽に、バラエティーミートをお楽しみいただけます。

旨豚ガッツ



家庭でかこむ本格鍋料理。

豆豉(トウチ)のコク、
豆板醤の香りがおいしさの決め手!

麻婆鍋



豚ミンチ肉を具に使用しスープにコクと深みを加えました。
ミンチはほどよい食感が残る荒挽き仕上げ。

やわらかな食感の豚もつ鍋。

こてっちゃん、こてっちゃんもつ鍋でのノウハウを生かした、豚もつ(大腸)を鍋の具として食べやすいように加工しました。臭みをおさえたやわらかな食感に仕あげています。



キムチの旨みが活かした
コク辛スープが
味の決め手!
豚もつ鍋
キムチ味

鍋用スープ・シリーズに、「キムチ鍋スープ」登場!

具材別メニューとして好評いただいた「鍋用スープシリーズ」(もつ鍋スープ、はりはり鍋スープ、豚みそ鍋スープ、塩ちゃんこ鍋スープ)に待望の「キムチ鍋スープ」がラインアップしました。



鶏肉の旨みと大根おろしの
あつさり感がおいしさの決め手!

みぞれ鍋



脂っぽさやくどさのない鶏のささみを使用。淡泊な味わいのささみとすっきりした大根おろしのかもすアッサリ風味。



食欲をそそる
しょうゆの香りが
味の決め手!
豚もつ鍋
しょうゆ味



あわせ味噌の
コクと旨みが
味の決め手!
豚もつ鍋
みそ味

S Foods 合併特集号

経営統合について

エスフーズとムラチクは、両社の経営基盤及び経営ノウハウを活かした組織・事業再編を行うことにより、両社の経営理念に基づき「おいしさと健康を愛する魅力ある強い食肉会社」を実現し、食肉業界の健全なる発展に尽力いたします。

また人類にとり大切な動物性たんぱく質である国内外の牛・豚・鶏等の食肉を安全に真心をこめて取り扱う総合食肉企業として、食肉文化の国内外への一層の普及に努めてまいります。皆さまのご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。



経営統合の狙い

S Foods

海外との取組みを基盤とした
バラエティミート・焼肉分野のパイオニア

ムラチク

国内において生産から販売まで
一貫した食肉事業会社

両社の事業領域における強みと特技を活かし

**総合食肉企業として
バラエティミート世界一、食肉日本一を目指します。**

両社の沿革

S Foods

- 1967年 5月 有限会社スタミナ食品を設立
- 1970年 1月 スタミナ食品株式会社に組織変更
- 1982年 7月 「こてっちゃん」発売
- 1983年 9月 新本社・西宮工場完成
- 1987年 9月 東京本社、船橋工場完成
- 1989年 4月 米国合弁会社F.B.C設立
- 8月 株式会社店頭公開
- 1992年 8月 「牛・もつ鍋」発売
- 1994年 7月 大阪証券取引所第二部上場
- 1997年 2月 西宮第二工場完成
- 1998年 4月 開発センター開設
- 1999年 12月 東京証券取引所第二部上場
- 2000年 8月 東京・大阪両証券取引所第一部指定替、
「エスフーズ株式会社」に社名変更
- 2001年 7月 全3工場でISO9001認証取得
- 2004年 9月 株式会社ムラチクとの株式交換

ムラチク

- 1982年 12月 株式会社ムラチク設立
- 1983年 7月 姫路ミートセンター開設
- 1986年 2月 同センター内に本社移転
- 1991年 8月 大阪事務所開設
- 1994年 10月 現本社工場建設
- 11月 東京支店開設
- 1997年 7月 本社新社屋建設
- 1999年 2月 千葉営業所開設
- 2000年 2月 日本証券業協会登録銘柄として株式公開
- 2001年 4月 大阪支店建設
- 2004年 2月 国際認証規格SQF2000取得
- 2004年 9月 エスフーズ株式会社と株式交換

最近3決算期の業績(連結)

エスフーズ(合併会社)

(単位:百万円)

決算期	平成14年 2月期	平成15年 2月期	平成16年 2月期
売上高	43,245	41,778	50,201
営業利益	220	1,603	2,840
経常利益	198	1,537	2,864
当期純利益	2,235	674	287
1株当たり当期純利益(円)	104.79	31.94	13.69
1株当たり年間配当金(円)	6.00	18.00	22.00
1株当たり株主資本(円)	875.06	900.31	888.91

ムラチク(被合併会社)

(単位:百万円)

決算期	平成14年 5月期	平成15年 5月期	平成16年 5月期
売上高	36,631	34,528	35,173
営業利益	1,594	1,685	1,755
経常利益	1,586	1,725	1,895
当期純利益	836	896	1,079
1株当たり当期純利益(円)	136.79	144.96	174.55
1株当たり年間配当金(円)	15.00	15.00	38.50
1株当たり株主資本(円)	847.02	972.25	1,128.74

新生エスフーズ(単純合算)

(単位:百万円)

決算期	平成13年度	平成14年度	平成15年度
売上高	79,877	76,307	85,375
営業利益	1,374	3,289	4,595
経常利益	1,784	3,263	4,760
当期純利益	1,399	1,570	1,367

合併後の状況

商号	エスフーズ株式会社
事業内容	食肉加工品、加工調理食品・惣菜、ソース・調味料の製造販売及び食肉の販売等
本店所在地	兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目22番13
代表者	代表取締役社長 森島 征夫
資本金	4,226百万円
決算期	2月末日
総資産	36,384百万円(見込み)

合併の日程

	エスフーズ	ムラチク
合併契約書承認取締役会	平成16年10月13日	平成16年10月9日
合併契約書調印	平成16年10月13日	
合併契約書承認株主総会	開催いたしません	平成16年11月13日(予定)
合併期日	平成17年3月1日(予定)	
合併登記	平成17年3月1日(予定)	

本合併は、商法第413条ノ3第1項の規定による簡易合併であり、エスフーズにおいては合併契約書に関する株主総会の承認を得ることなく行います。